

平岡地区景観まちづくりワークショップ② 「里あるきの様子」

景観について知るためには実際に歩いてみる事が大切、ということで2回にわたって、「里あるき」を行いました。景観という切り口で改めて歩いてみると、実はさまざまな資源が平岡地区に眠っていることがわかりました。第1回は川原井版をご覧ください。今年2月7日に行った第2回の様子をご紹介します。

平成21年2月7日 第2回里あるき

平岡公民館を出発して、外気塚と野里神社に行き、あとは永地コースを中心に行きました。

●公民館～外気塚



平岡公民館。ワークショップの会場で、里あるきのスタート地点でもあります。



●野里神社へ



外気塚から平地に下ると、台地の斜面に沿って住宅が並びます。早春の花、ロウバイが咲いていました。



このあたりは水が豊富。いたるところにきれいな水をくみ上げるポンプがありました。



平岡地区でも指折りの神社。「野里神社」扁額には「里神社」とありました。

ちょっと愛嬌のある狛犬。



社殿の彫刻をよく見てみると、昔の軍艦が彫られていました。

●永地地区…諏訪神社、瀧泉寺



県指定有形文化財「諏訪神社本殿」スタジイの木立に覆われ、松川を見守るように建てられています。



市指定文化財「永地銅造地藏菩薩坐像」諏訪神社に隣接しています。

「瀧泉寺」



瀧泉寺の築山からは遠くのぞみ野の住宅地が望めます。のぞみ野からご参加の方は「あたしの家見えるかしら」

●上泉地区



「常福寺」カヤの大木がありました。悠久のを感じさせます。



周囲には広大な畑が広がります。



ちょっと途中で地図を確認



●永地地区…諏訪神社、瀧泉寺

「八幡神社」小高い丘の上にあるので…



石段を登るのが大変です。



ここにも立派なスタジイの大木が



八幡神社の社殿。集団で七五三を行うそうです。



外気塚近くの竹林。けっこううっそうとしていますが…



地元の方がかなり竹を切って手入れをされていました。



「外気塚」水争いで亡くなった人を供養する塔が立っています。もとはここにも竹がありましたが、すっかりきれいになっています。

外気塚の周りにはタブノキやケヤキなどの巨木がありました。

